



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所 東  
 コード番号 6800 URL http://www.yokowo.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員常務 (氏名) 横尾 健司 (TEL) 03-3916-3111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,324	18.7	617	14.5	686	265.0	524	—
29年3月期第1四半期	10,383	12.2	539	358.2	188	△28.7	43	△81.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 808百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △921百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	26.01	25.88
29年3月期第1四半期	2.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	34,973	21,428	61.2
29年3月期	33,319	20,836	62.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 21,415百万円 29年3月期 20,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	14.6	1,300	15.8	850	23.8	550	35.1	27.27
通期	48,000	8.9	2,850	13.2	2,400	△8.0	1,550	△34.9	76.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	20,849,878株	29年3月期	20,849,878株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	682,408株	29年3月期	728,888株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	20,145,105株	29年3月期1Q	20,004,634株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は、すべてのセグメントが前年同期比で増収となり、123億2千4百万円（前年同期比+18.7%）となりました。営業損益につきましては、車載通信機器セグメントが赤字となったものの、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントが前年同期比で大幅な増益となったことから、6億1千7百万円の利益（前年同期比+14.5%）となりました。経常損益につきましては、中国における関税の還付などにより、6億8千6百万円の利益（前年同期比+265.0%）と、前年同期比で増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常増益に加え、税金費用負担率の正常化などにより、5億2千4百万円の利益（前年同期は4千3百万円の利益）と、前年同期比で大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の測定方法にて組み替えた数値にて比較しております。

## ① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、アセアン市場は回復の兆しがあるものの、中国市場は成長が鈍化し、米国市場は減少に転じるなどの変化が生じております。国内におきましては、登録車の堅調な推移に加え、軽自動車の反動増により、新車販売台数は前年を上回りました。

このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナ/マイクロアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナは、国内・海外ともに販売が伸長し、前年同期を上回りました。また、国内向けを主とする製品については、E T C車載アンテナはE T C 2.0対応特需の反動減となったものの、フィルムアンテナは前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は85億5千4百万円（前年同期比+14.0%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、中国において製造要員確保・定着率向上のための賃金引上げなどで労務費が膨らんだほか、新規採用要員比率上昇に伴う生産性低下や部品調達遅れなどから航空便を多用し、製品輸送費用が大幅増となったことなどにより、1億3千4百万円の損失（前年同期は2億2千4百万円の利益）となりました。

## ② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、パソコン向けの低迷、タブレット向けの減少や、スマートフォン向けの成長鈍化懸念の一方で、NAND/DRAMなどメモリー需要の増加により、全体としては成長が継続するものとみられております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるBGAソケット等半導体後工程検査用治具の販売は、旺盛な受注増と円安効果により、前年同期を大幅に上回りました。また、高周波電子部品検査用MEMSプローブカードを戦略製品とする半導体前工程検査用治具の販売も、積極的な拡販活動により、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は22億4千8百万円（前年同期比+28.7%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、増収による増益に加え、マレーシア工場生産比率上昇などにより、4億4千3百万円の利益（前年同期比+85.2%）となりました。

## ③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場は携帯端末市場及びPOS端末市場であり、携帯端末市場は、スマートフォン/タブレット端末が世界的な飽和傾向により伸びが鈍化しております。一方のPOS端末市場は、物流/製造を始め幅広い業界での利用拡大が続いており、端末機器の多様化・高機能化とともに着実な成長が見込まれております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、POS端末メーカー向け販売の順調な推移に加え、携帯端末メーカー向けの販売が受注増により回復傾向となり、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めております医療・デバイス事業につきましても、海外顧客向けガイドワイヤユニット販売の本格化などにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は15億2千1百万円（前年同期比+34.6%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、増収による増益に加え、比較的利益率の高い製品の比率上昇などにより、3億9百万円の利益（前年同期比+431.8%）となりました。

## (事業セグメント別連結売上高)

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 自平成28年4月 至平成28年6月	前四半期 自平成29年1月 至平成29年3月	当第1四半期 自平成29年4月 至平成29年6月	前年同期比	前四半期比
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	7,506	8,821	8,554	+14.0	△3.0
回路検査用コネクタ	1,747	1,890	2,248	+28.7	+19.0
無線通信機器	1,129	1,343	1,521	+34.6	+13.2
合計	10,383	12,055	12,324	+18.7	+2.2

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間(上期)の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、売上高を上方修正いたします。営業利益につきましては、車載通信機器セグメントが想定を下回る水準となる一方、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントで想定を上回る推移が見込まれることなどから、当初予想を据え置くことといたします。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、当初予想と同じく為替差損約5億円を見込む一方、当第1四半期連結累計期間で計上した営業外収益を踏まえ、上方修正いたします。

通期の業績予想につきましても、上記の上期業績予想修正及び下期における車載通信機器セグメントの増収見通しを踏まえて売上高を上方修正するとともに、各利益につきましても、車載通信機器セグメントの損益改善ペースなどを勘案しつつ上方修正いたします。

なお、想定為替レートは、本年8月以降当期末まで1米ドル=105円(当初予想時と同水準)と設定しております。

## 第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(単位：百万円、%)

	当初予想 (平成29年5月12日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	23,000	24,000	+1,000	+4.3
営業利益	1,300	1,300	—	—
経常利益	800	850	+50	+6.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	500	550	+50	+10.0

## 通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円、%)

	当初予想 (平成29年5月12日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	46,500	48,000	+1,500	+3.2
営業利益	2,800	2,850	+50	+1.8
経常利益	2,300	2,400	+100	+4.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,500	1,550	+50	+3.3

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,818,150	5,961,261
受取手形及び売掛金	9,248,141	9,911,228
商品及び製品	3,110,795	3,563,309
仕掛品	353,943	297,070
原材料及び貯蔵品	2,438,513	2,499,040
その他	1,490,853	1,568,691
貸倒引当金	△16,924	△16,944
流動資産合計	22,443,473	23,783,656
固定資産		
有形固定資産	7,782,936	8,046,139
無形固定資産		
その他	579,863	500,021
無形固定資産合計	579,863	500,021
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	12,245
その他	2,513,535	2,631,097
投資その他の資産合計	2,513,535	2,643,343
固定資産合計	10,876,335	11,189,503
資産合計	33,319,808	34,973,160
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,690,100	5,311,957
短期借入金	2,364,965	2,360,960
未払法人税等	188,500	147,514
賞与引当金	425,980	231,074
その他	2,412,008	3,144,496
流動負債合計	10,081,555	11,196,002
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,600,000
製品保証引当金	89,123	88,972
退職給付に係る負債	144,034	153,668
その他	568,989	506,175
固定負債合計	2,402,147	2,348,816
負債合計	12,483,702	13,544,818
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	12,642,063	12,899,740
自己株式	△854,956	△800,465
自己株式申込証拠金	1,977	565
株主資本合計	19,767,282	20,078,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,371	574,711
為替換算調整勘定	406,640	503,709
退職給付に係る調整累計額	263,546	259,066
その他の包括利益累計額合計	1,052,557	1,337,487
新株予約権	16,265	12,816
純資産合計	20,836,106	21,428,342
負債純資産合計	33,319,808	34,973,160

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,383,224	12,324,911
売上原価	8,332,081	9,952,945
売上総利益	2,051,142	2,371,965
販売費及び一般管理費	1,512,036	1,754,728
営業利益	539,105	617,236
営業外収益		
受取利息	1,390	2,240
受取配当金	14,793	14,598
外国税還付金	251	78,819
その他	16,884	10,755
営業外収益合計	33,318	106,413
営業外費用		
支払利息	11,383	18,894
為替差損	367,336	1,827
保険解約損	—	14,124
その他	5,564	2,136
営業外費用合計	384,285	36,983
経常利益	188,138	686,666
特別利益		
固定資産売却益	295	58
投資有価証券売却益	—	258
特別利益合計	295	317
特別損失		
固定資産売却損	417	—
固定資産除却損	4,513	37,955
製品保証引当金繰入額	9,368	—
特別損失合計	14,298	37,955
税金等調整前四半期純利益	174,135	649,028
法人税、住民税及び事業税	128,871	123,094
法人税等調整額	2,005	1,922
法人税等合計	130,877	125,017
四半期純利益	43,258	524,011
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,258	524,011

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	43,258	524,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108,585	192,340
為替換算調整勘定	△866,037	97,068
退職給付に係る調整額	10,099	△4,479
その他の包括利益合計	△964,523	284,929
四半期包括利益	△921,265	808,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△921,265	808,941
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,506,102	1,747,318	1,129,803	10,383,224	—	10,383,224
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23,711	—	23,711	△23,711	—
計	7,506,102	1,771,029	1,129,803	10,406,935	△23,711	10,383,224
セグメント利益	224,745	239,616	58,229	522,591	16,513	539,105

(注) 1. セグメント利益のその他16,513千円は、主に親会社間との内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,554,688	2,248,947	1,521,275	12,324,911	—	12,324,911
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	39,831	—	39,831	△39,831	—
計	8,554,688	2,288,778	1,521,275	12,364,742	△39,831	12,324,911
セグメント利益又は損失(△)	△134,249	443,709	309,674	619,134	△1,897	617,236

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)のその他△1,897千円は、主に親会社間との内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、各セグメントにおける利益状況をより詳細に把握するために、これまでその他に含めておりました棚卸資産の調整額に関わる費用を各報告セグメントのセグメント利益に含めて計上しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しております。